令和５年７月18日

第２回東京都エネルギー問題アドバイザリーボード

午後３時31分開会

【坂本局長】
それでは、これより第２回東京都エネルギー問題アドバイザリーボードを開会いたします。
今回、６名の委員の皆様にご出席をいただいております。ありがとうございます。
東京都産業労働局長の坂本でございます。今回、冒頭の部分の司会を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
初めに、小池知事からご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【小池知事】
もう最初に、この言葉しかありません。毎日お暑うございます。そういう中、本日、ご足労をおかけいたしまして恐縮でございます。これで第２回になります東京都エネルギー問題アドバイザリーボード、皆様方、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
前回、オンラインでもご出席いただいたりしたわけですが、今日はこの皆様方とリアルでお話ができるということを大変うれしく思っております。
前回の会議を振り返りますと、今後の電力の効率的な活用、そして地域分散型の供給システムについて、また、水素利用の推進というような、本当に多面的なご意見をいただきました。国の水素基本戦略の改定につきましてもご意見を頂戴したところでございます。
そして、今年の夏も電力需給逼迫ということで、東京都としてＨＴＴ運動などを行っております。また、先日の九州から、今度は秋田ということで、かつてアル・ゴアがまとめた「不都合な真実」という映画で見たシーンが、今、目の前で起こっているということで、非常にこの気候についても、何か新しいフェーズに入ったのかなと思わせるような、そういう体感がございます。
それも、世界中が厳しいと。毎年大体こういう厳しいことになりますとニュースになるのですけれども、頻度が増して、かつその影響がさらに大ということでございます。
先日、インドでグジャラート州のアーメダバードというところ、これはモディさんの出身地でありますが、そちらでG20の一環としてU20という会議、Ｕはアーバンでございます。その会議に出席をしてまいりました。
やはりそこでの各それぞれの大きな、ロンドンとかニューヨークとかパリとか、また小さいけれども、それぞれの国を代表するような都市の市長などが集まって話をしてまいりましたけれども、やはり洪水問題というのは、それぞれの地域での大きな、政治的な課題にもなっており、実際に、去年ですかね、パキスタンなどは国土の何%かは水浸しになるような、そういう状況でございました。改めてこの点について、世界各都市の危機感を肌で感じてきたところでございます。
エネルギーの利用の在り方と地球環境の保全の両立について、国際社会の意識は高まっています。また、危機に立ち向かって安全・安心を確保すると同時に、この転換点をむしろチャンスにしていけないか。東京の活力、そして日本の成長をどう実現していくのか。いろいろとこれまでの日本の歴史を振り返りますと、先日、天皇皇后陛下が訪れられたインドネシアへの訪問も、非常に歴史的にも意義があることだったと思いますけれども、日本がいかにしてエネルギーを確保するために戦ってきたのか、そしていろいろな形で取り組んできたのかというのは、まさに大きな、一番大きな柱の一つだというふうに考えております。
ちょうど今、岸田首相が産油国を回っておられるということも非常に大きなことだというふうに思っております。
ゼロエミッションに向けました再生可能エネルギーに、例えばＵＡＥがＣＯＰの議長国として取り組むなど、例えば10年前は考えられなかったことですけれども、それに彼らが取り組み、そして、そこにいかに技術的にも日本が貢献できるかということも大きな課題になっております。
一方で、この夏の暑さをどうやって都民の命を守りながらしのぐかというのも、我々にとっては大きな責任でございます。
そしてさらに、こういう危機を、ずっと危機と言っているのですけれども、これをどうプラスに変えるかというところが、まさに今問われている。そしてまた、様々実験を行ってきておりますけれども、各国は、もう一気に実装を、スケールメリットで大々的に進めていくという状況があちこちで散見できるところでございます。

水素の活用についても同じことが言えて、せっかくのこの東京という大きな需要地を、その特性を生かして、そして国の戦略も見据えながら、新たなアクションが必要だというふうに認識をいたしております。

今日は、国の水素基本戦略の改定に携わっておられる資源エネルギー庁の井上部長にご講演いただくということで、まさに国と東京都でしっかり連携することによって、より効率的な、そしてまた、これまで培ってきた様々な技術を花開かせていくためにも、今日のご講演も生かしていきたいと思っております。ご参加いただきましてありがとうございます。

エネルギーの需給、そしてまた水素の利用などに関しまして、皆様方のご考察、そしてまた展望を幅広く論じていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

冒頭のご挨拶とさせていただきます。

【坂本局長】

小池知事、ありがとうございました。

本日も皆様方のご協力によりまして、実りある議論を進めてまいりたいと思います。何とぞよろしくお願い申し上げます。

知事でございますが、公務がございます関係で、ここで退席をいたします。

【小池知事】

どうぞよろしくお願いいたします。

（知事退室）

【坂本局長】

また、報道関係の方におかれましても、事前にご案内いたしましたとおり、公開はこちらまでとさせていただいております。こちらで皆様もご退室をお願いいたします。

（プレス退席）